



行田大好き。気持ちちは宣伝部長

新井松枝さん(72歳・佐間)

「私は行田が大好き。好き過ぎていろいろな方にこのまちの魅力をPRしちゃっているんですよ。気分は行田市の宣伝部長です」と照れ笑いを浮かべながら語るのが、今月紹介する「いきいき行田人」の新井松枝さんです。



新井さんは秩父市出身。就職を機に生まれ育った故郷を離れ、生活の場を行田に移しました。当時は足袋の生産が盛んなまちということしか知らず、このまちに対してあまり関心がなかったそうです。しかし、今では熱烈な行田ファンの中に。その証拠に所有している乗用車には、「こぜにちゃん」「フラベス」「ニンギン」「コノハちゃん」のステッカーが貼られ、車の鍵には「うきしろちゃん」のストラップを付けるなど、身の回りには数々の行田グッズがあふれています。これほどまでに行田に愛情を注ぐ理由を「このまちには埼玉古墳群や忍城址、古代運の里など歴史を肌で感じられる場所が数多くありますよね。そこに魅力を感じてし

まったんです。のめり込んでしまう性格もあって」とうれしそうに語ります。

行田への愛着が人一倍強い新井さんがまちのPRを積極的に行うようになったのは、今から3年前。映画「のぼうの城」が公開されたことがきっかけでした。「このまちを舞台にした映画が観られるなんて、一生に一度あるかないか。うれしくて一人でも多くの人に観てほしいと思っただけです」。そんな思いから関連する書籍やグッズを買い求め、パンフレットを添えて県内外の知人に夢中になって送ったそうです。すると早速反応が。「映画観たよ。とてもおもしろかった」「今度行田を案内して」。そういった声が原動力になり、以来行田を宣伝したり案内したりすることがライフワークになっていききました。

映画の公開が終了しても、新井さんの郷土愛は増すばかり。「いつでも」「どこでも」行田の話題を提供できるようにと、観光情報館「ぶらっとぎょうだ」に足しげく通い、土産やグッズをチェックすることを忘れません。また、市内で開催されるイベントに必ず参加し、その様子がテレビで放送されるとすぐに宣伝を始めます。自分がかかっていることが他の方に広がってほしいと思います。そして、一人でも多くの人が行田を好きになってもらいたいですね」とにっこりとほほ笑む新井さん。まちのにぎわいを創造していくためには、新井さんのような人ももっと増えることが望まれます。

私の作品

◎皆さんの作品を募集しています。◎俳句は毎月5日までに、はがき・封書で広報広聴課へご応募ください。

- | | | | |
|----|-----------------|-----------------|------------|
| 俳句 | 荒木 藤田 栄之 | 夏帽子白寿の義兄若々し | 城南 橋本千枝子 |
| | 富士見町 鈴木スイ子 | 指先を茶色に婆の路料理 | 南河原 今村 文女 |
| | 蔵めぐる三々五々の夏帽子 | 顔揃い米寿の膳に初鯉 | 斎条 小林 英与 |
| | 城西 鈴木 正夫 | おぼろ月古代の祭寿ぎぬ | 渡柳 川田 静江 |
| | 柵田町 財津ミチエ | 夕薄暑足より疲れ上りくる | 須加 須加かつ江 |
| | 草茂る休耕田の息づかい | 青じそを求めて植えしプランター | 富士見町 森 節子 |
| | 持田 丸山 麟一 | 転職の孫もおちつく五月かな | 須加 天沼 広吉 |
| | もつれ合い石に戯る夏の蝶 | 梅雨晴のひかり輝く洗車かな | 門井町 嶋田 茂 |
| | 荒木 森田 静 | 初夏や子等晴れやかに新車ごと | 持田 小倉 繁三 |
| | 城町の袋小路の薄暑かな | 梅雨の朝傘の行列通学路 | 藤原町 上原ミサ子 |
| | 持田 矢口 トヨ | | (三沢 一水 監修) |
| | ふき摘みて煮付けし味は母ゆずり | | |
| | 持田 岡本千寿子 | | |
| | 麦秋や穂波に遊ぶ二羽の鳥 | | |
| | 向町 渡月 峯 | | |
| | 一服の薄茶が運ぶ風涼し | | |
| | 持田 伊藤 洋子 | | |
| | 五月間ひそと七十路旅立ちぬ | | |

はじめまして



平成26年9月生まれのお子さんを募集します

○7月1日水～31日金に電話またはEメールで広報広聴課広報広聴担当(内線318)
※応募要領は市ホームページをご覧ください。
○応募者多数の場合は、8月3日(月)午前11時から市役所203会議室で公開抽選を行います。



★★★ 平成26年7月生まれのおともだち ★★★



坂本 大樹ちゃん(白川戸) 平成26年7月30日生まれ 父・純一さん 母・由美子さん 「心も身体も 大きく育ちますように」



上林 準大ちゃん(持田) 平成26年7月22日生まれ 父・優さん 母・瑠梨子さん 「ぶくぶくしゅんた♡ 大好きよ♡」



和田 将宏ちゃん(持田) 平成26年7月17日生まれ 父・幸夫さん 母・加奈さん 「元気がいっぱい♡ 我が家のヒーロー」



河村 哲慶ちゃん(本丸) 平成26年7月10日生まれ 父・哲範さん 母・友貴さん 「悪カキの甘えん坊! 元気に育て!」



吉田 光希ちゃん(斎条) 平成26年7月20日生まれ 父・拓弥さん 母・和希さん 「光希♡だあーいすき♡」



渡辺 愛絆ちゃん(谷郷) 平成26年7月18日生まれ 父・泰さん 母・彩子さん 「元気がいっぱい♡ ニニコ笑顔」

ぎょうだの会社を クローズアップ!!

株式会社ファイブイズホーム

地域密着型経営でお客様満足と安心を追求



お客様にご出席いただいた「着工式」

会社プロフィール
代表取締役 細井 保雄
【事業内容】不動産販売事業
建築請負事業
【住所】持田3-2-17

行田市を中心に、出店エリアのほとんどで最高の新築住宅販売実績を誇るのが株式会社ファイブイズホームです。「品質」「性能」「デザイン」「価格」「アフターケア」の5つのアイテムに加え充実したサービスが社名の由来である同社。「私たちは、お客様の満足度、安心を何より大切にしています。その代表的な取り組みが300項目のチェックです」と語る代表取締役の細井保雄さん。第三者機関を含め三重のチェックを全棟で行い、施工写真の入ったDVDのプレゼントも行っているそうです。さらに、特徴的なサービスが「アフター30」です。故障や破損といった緊急事態の際、30分以内に駆けつける地域密着型の企業ならではのアフターフォロー体制です。特に、電気・水道・ガスなどのライフラインは1日で復旧させることが、お客様から高い評価を受けているとのこと。加えて、同社は昭和54年に不動産業から事業をスタートしたため、豊富な土地情報やネットワークを有していることも、低価格で高品質な住宅・サービスを提供できる理由の一つになっているそうです。

また、同社の経営理念となっているのが、「5方よし」の精神です。「5方よし」とは、近江商人の「売り手よし」一買ひ手よし」「世間よし」の3方よしに「社員よし」「取引業者よし」を加えた独自の思想です。「単に住宅を販売するだけではなく、住む人・地域社会・社員・協力業者が互いに満足することのできる経営を追求しています」と細井さんは語ります。この「社員よし」を象徴しているのが、埼玉県による「多様な働き方実践企業制度」に認定されたことです。女性が生き生きと働くことのできる職場環境を評価する同制度で、短時間勤務や管理職への積極的な登用などが評価され、平成24年に最高ランクのプラチナ認定を受けたのです。また、職人の確保に頭を悩ませる同業者が多い中、これまで職人不足に陥ったことがないことも「5方よし」の効果であると言えるでしょう。

※このコーナーで紹介する会社を募集しています。 特色ある業務を行っている会社の情報を広報広聴課広報広聴担当(内線318)までお寄せください。